

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0385 - 07

令和5年度セグメントシート										(日本スポーツ振興センター)									
セグメント名			スポーツ・インテグリティの保護・強化事業					担当部局庁		スポーツ庁				作成責任者					
事業開始年度			平成15年度		事業終了 (予定) 年度		終了予定なし			担当課室		競技スポーツ課				競技スポーツ課長 西川由香 参事官 (国際担当) 八木和広			
会計区分			一般会計																
セグメント単位の考え方			財務諸表のとおり																
根拠法令 (具体的な条項も記載)			独立行政法人通則法第46条 独立行政法人日本スポーツ振興センター法第15条					関係する計画、通知等		第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)									
								主要経費		教育振興助成費									
事業の目的 (5行程度以内)			独立行政法人日本スポーツ振興センター法第3条の目的を達成するため、スポーツを行う者の権利利益の保護、心身の健康の保持増進及び安全の確保に関する業務、スポーツにおけるドーピングの防止活動の推進に関する業務その他のスポーツに関する活動が公正かつ適切に実施されるようにするため必要な業務を行う。																
現状・課題 (5行程度以内)			令和2年度から開始されたスポーツ団体ガバナンスコードに基づく適合性審査の実施等により、スポーツ団体におけるガバナンス強化・コンプライアンス徹底に関する取組は一定程度進んだものの、依然としてスポーツの価値を脅かす不祥事案が発生していることから、その取組が十分であるとは言い難い状況である。上記を踏まえ、スポーツ関係者のコンプライアンス違反や体罰、暴力等の根絶を目指すとともに、スポーツ団体のガバナンスを強化し、組織経営の透明化を図る。 また、アンチ・ドーピング活動においては、国内外の関係機関と連携し、インテリジェンス活動等を実施することによりスポーツにおける公正性の確保に向けた支援を行う。																
事業概要 (5行程度以内)			スポーツ・インテグリティの保護・強化について、スポーツにおけるドーピングの防止活動並びにスポーツ・インテグリティの保護・強化に関する国内外の情報収集及びモニタリングに取り組むことにより、我が国におけるクリーンでフェアなスポーツの推進を図り、スポーツの価値の向上に寄与する。																
事業概要URL																			
予算額・執行額 (単位:百万円)							令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求								
					当初予算：運営費交付金(A)		187	154	158	151	-								
					補正予算：運営費交付金(B)					-	-								
					予算額					-									
										-									
										-									
			経常収益				運営費交付金(C)		137	123	145								
					補助金等(D)		-	-	-										
					その他(E)		16	18	18										
					計(F) =(C)+(D)+(E)		153	141	163										
					運営費交付金収益の割合 =(G)/(F)		89.5%	87.2%	89.0%										
					運営費交付金収益化基準		業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準									
			経常費用		予算額(G)		187	161	165	166									
					執行額(H)		141	125	137										
					執行率(I) =(G)/(H)		75%	78%	83%										
			令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)			歳出予算項・目			令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)								
(項)		独立行政法人日本スポーツ振興センター 運営費						※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。											
	(目)	独立行政法人日本スポーツ振興センター 運営費交付金に必要な経費				151													
		その他				▲ 151													
計(A)			151	-															

活動内容① (アクティビティ)		スポーツ団体のニーズを踏まえつつ、毎年度少なくとも5つの団体にガバナンス等に関する現況把握の支援等を行い、当該団体のスポーツ・インテグリティの確保に関する理解促進等を図り、スポーツ団体の適正なガバナンス等の確保に向けた取組を促進する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		スポーツ団体に対してガバナンス等に関する現況把握支援を実施する。	ガバナンス等の現況評価支援を行った中央競技団体数	活動実績	団体	5	7	9	5	－
				当初見込み	団体	5	5	5	5	5
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	アウトプットで記載した活動目標について、毎年度実施する年度評価において、インテグリティの確保に向けて、外部委員からの公正で客観的な意見も取り入れながら評価を受け、評価は業務運営上の課題の把握・改善等にも資することから、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		独立行政法人通則法に基づく、主務大臣による各年度の業務実績に関する評価のうち、当該項目について標準以上の評価を得る。	評価結果(B評定を標準(所期の目標を達成していると認められる状態)の100%とし、A評定を120%、C評定を80%として記載する)	成果実績	%	120	120	120	－	
				目標値	%	100	100	100	100	
				達成度	%	120	120	120	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本スポーツ振興センターの各年度における業務の実績に関する評価								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	短期アウトカムである年度評価の結果を総合して、中期目標期間の終了時において、インテグリティの確保に向けて、外部委員からの公正で客観的な意見も取り入れながら、中期目標期間における中期目標の達成状況について評価されることから、長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		独立行政法人通則法に基づく、主務大臣による中期目標期間の業務実績に関する評価のうち、当該項目について標準以上の評価を得る。	評価結果(B評定を標準(所期の目標を達成していると認められる状態)の100%とし、A評定を120%、C評定を80%として記載する)	成果実績	%	－	－	120	－	
				目標値	%	－	－	100	100	
				達成度	%	－	－	120	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本スポーツ振興センターの第5期中期目標期間における業務の実績に関する評価								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

※令和4年度実績を記入。

スポーツ庁



【運営費交付金交付】

独立行政法人日本スポーツ振興センター



【一般競争契約（最低価格）等】

【A】
スポーツ・インテグリティの
保護・強化事業
128百万円
株式会社アクロスペイラ等（全74件）

スポーツにおけるドーピング防止活動並びにスポーツ・インテグリティの保護・強化に関する国内外の情報収集及びモニタリングなど、スポーツ・インテグリティの保護・強化のために必要な業務を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.株式会社アクロスペイラ			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	保守等業務委託費	スポーツガバナンスウェブサイトのシステム更新業務等	10			
	計		10	計		

支出先上位10者リスト

A.スポーツ・インテグリティの保護・強化事業

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となつ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社アクロスペイラ	5010001103481	スポーツガバナンスウェブサイ トのシステム更新業務	5	一般競争契約 (最低価格)	1	-	-
2	株式会社アクロスペイラ	5010001103481	スポーツガバナンスウェブサイ トのプログラム改修業務	3	一般競争契約 (最低価格)	1	-	-
3	株式会社アクロスペイラ	5010001103481	ガバナンスコードに基づく自己説明・公表促進のための ウェブサイト構築 【一般競争契約(最低価格)(令和2年度～令和4年度)】	2	その他	-	-	-
4	トランス・コスモス株式会社	3011001041302	第三者相談・調査制度におけるSNS相談窓口に係る構築 及び運用保守業務の委託 【一般競争契約(最低価格)(令和2年度～令和4年度)】	8	その他	-	-	-
5	株式会社スケール	6011001026291	スポーツガバナンスウェブサイト操作 方法説明動画の制作に係る業務	1	随意契約(少額)	-	-	-
6	株式会社スケール	6011001026291	ドーピング通報窓口専用サイ トのコンテンツ制作	0.6	随意契約(少額)	-	-	-
7	株式会社スケール	6011001026291	トップアスリートのための暴力・ ハラスメント相談窓口リーフ	0.4	随意契約(少額)	-	-	-
8	株式会社スケール	6011001026291	ドーピング通報窓口の通報具体 例紹介に係る動画編集業務の委	0.2	随意契約(少額)	-	-	-
9	株式会社日本旅行	1010401023408	国外旅費交通費	2	その他	-	-	-
10	株式会社エイチ・アイ・エス	6011101002696	国外旅費交通費	2	その他	-	-	-
11	有限会社ゴーズ	6020002101053	絆創膏制作	1	随意契約(少額)	-	-	-
12	有限会社ゴーズ	6020002101053	卓上スタンドPOP印刷・加工・ 組立	0.7	随意契約(少額)	-	-	-
13	カレット株式会社	3011201015881	ドーピングの防止に係る通報窓ロ システムのサーバー保守等について	1	随意契約(少額)	-	-	-
14	カレット株式会社	3011201015881	ドーピング防止に係る通報窓 口専用サイトの改修	0.3	随意契約(少額)	-	-	-
15	カレット株式会社	3011201015881	ドーピング防止に係る通報窓 口専用サイトの改修	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
16	株式会社日本橋夢屋	4010001070203	国外旅費交通費	1	その他	-	-	-
17	個人A	-	弁護士報酬	1	その他	-	-	-
18	株式会社アイネスリレーション ズ	5010401048905	人材派遣	1	随意契約(少額)	-	-	-